

X. 地域医療 管理指導医：山本 恒彦

1. 研修目標

地域医療を必要としている患者とその家族に対して全人的な対応ができるることを目標とする。このために当地域において、地域医療を実践している診療所・当院健診部の協力を得て、地域医療研修を行う。また、地域医療の研修期間中に必ず在宅医療（訪問診療）を経験する。

2. 研修方略及び行動目標

研修内容

- 1) 患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療の実際を理解し、経験する。
- 2) 在宅医療の実施における注意点に関して理解し、在宅医療を経験する。
- 3) 病診連携の観点からの診療所の役割を理解し、経験する。
- 4) 診療所の役割を更に、その診療所の専門領域（内科系診療所と外科系診療所の双方を経験する）に合わせて理解し、それが地域医療実践の場においてどのように生かされているのかを実際に経験する。
- 5) 地域に即した医療における患者の全人的理解の仕方、それを踏まえてのコミュニケーションスキルを理解する。
- 6) 診療所の診療に参加し、その役割を理解する。
- 7) 在宅医療（訪問診療）を経験する。
- 8) 一般外来を経験する。午前診、午後診を各一コマとカウントする。
- 9) 研修スケジュール（例）は下記のとおりである。休診日、スケジュール等は各診療所により異なる。

	午前	午後	夕方
月	一般外来	訪問診療	一般外来
火	一般外来	検査	一般外来
水	一般外来	訪問診療	一般外来
木	一般外来	休み	休み
金	一般外来	検査	一般外来

3. 地域医療研修施設先 別途

4. 評価

- 1) 研修医は、ローテート終了時に EPOC を用いて自己評価を行う。
- 2) ローテート終了時に、指導医及が、評価票を用いて「研修医評価票 I、II、III」の研修医を評価する。